

議案第 5 1 号

山都町辺地総合整備計画の策定について

山都町辺地総合整備計画を別紙のとおり策定することとする。

令和元年 9 月 5 日提出

山都町長 梅 田 穰

(提案理由)

本計画を定めるには、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律(昭和 3 7 年法律第 8 8 号)第 3 条第 1 項の規定により、議会の議決を経る必要があります。

これが、この議案を提出する理由です。

# 総合整備計画書

熊本県 山都町 玉目辺地

(辺地の人口 70人 面積4.20km<sup>2</sup>)

## 1 辺地の概況

### (1) 辺地を構成する町又は字の名称

玉目 (鬼ヶ城・栃木・朝藪・上ノ原・赤石・妙見・中村・堤ウド  
宿ノ谷・ウド・扇平・東・栃屋・龍神・甲頭・蔵ヶ迫  
井野・梅木・柳迫・飯塚・大迫・烏帽子山・横大道・黒畑・  
舞谷)

### (2) 地域の中心の位置 山都町 玉目 字 栃屋531-1番地

### (3) 辺地度点数 150点

## 2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、山都町の東側に位置し標高は、約600mである。産業形態は農業が主体であるが、耕地が山あいになん点在していることから、作物の栽培に不便をきたしている。

町道長谷花立線は、起点を国道265号として4集落を経て終点を県道河内矢部線に直結し、玉目地区の蔵ヶ迫から扇平へと通じる当該地域の主要路線である。生活道路と農産物の流通道路を兼ねており、また通学・定期バス路線でもあるが、幅員狹隘で曲路が多く、車両通行上非常に危険である。更に近代農業の機械の大型化に伴い大型車両の通行は、非常に困難であり地域生活の大きな障害となっていることから、早急に整備が必要である。そこで、道路の改良・舗装を行い、交通網を整備することにより、安全性の確保、地域住民の利便性の向上及び地域産業の向上を図り、住民の生活文化水準の向上を図る。

## 3 公共的施設の整備計画

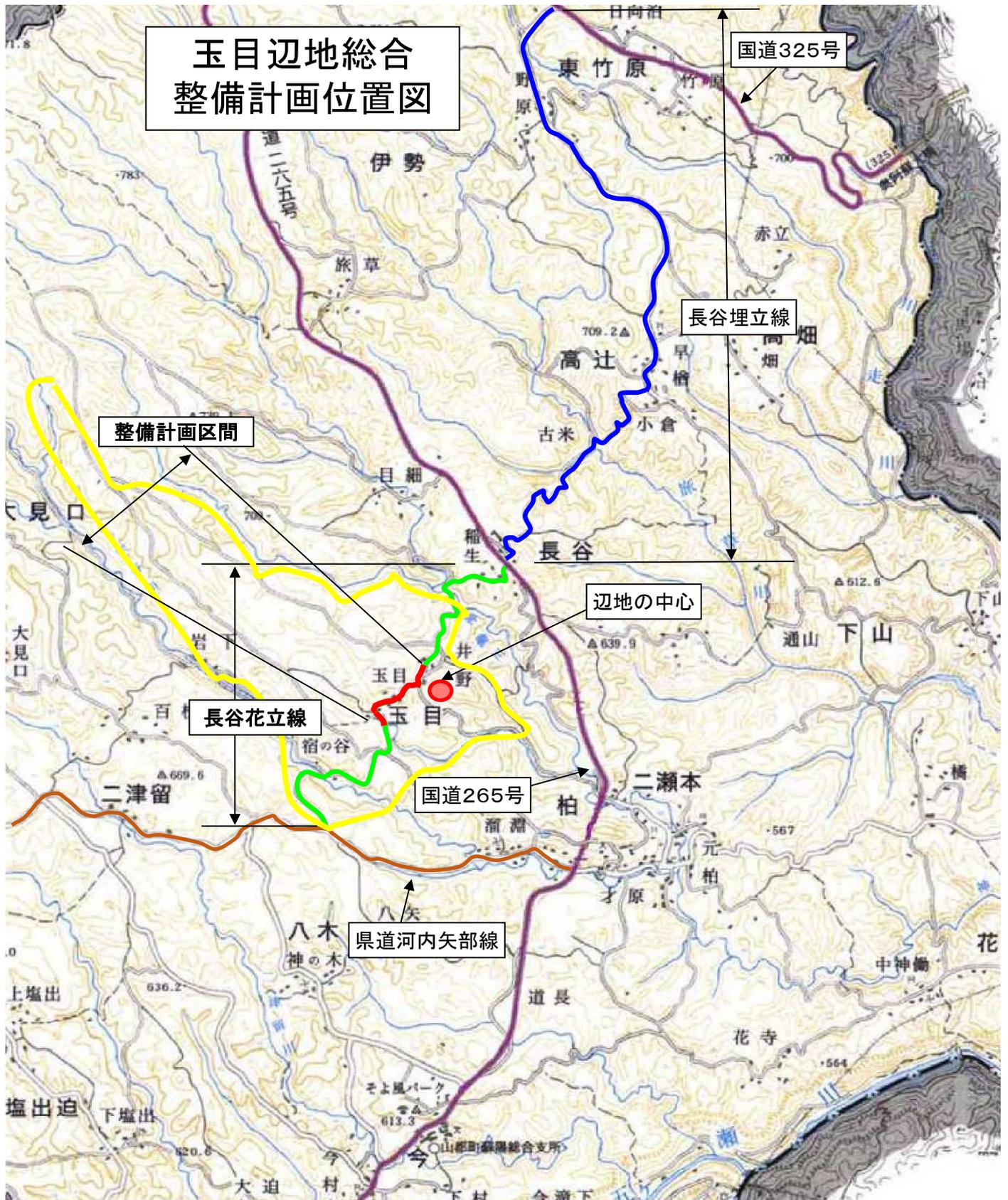
令和元年度から令和6年度まで 6年間

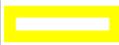
(単位：千円)

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
施設名	事業主体		特定財源	一般財源	
交通通信施設 (道路及び渡船施設)	山都町	280,000	163,799	116,201	115,900
合計		280,000	163,799	116,201	115,900

※財源内訳 特定財源：町道長谷花立線 国庫(社会資本整備総合交付金)58.5%

# 玉目辺地総合 整備計画位置図



凡 例	
	玉目辺地区域
	辺地の中心
	町道長谷埋立線
	整備計画区間
	町道長谷花立線